

# 山形県公立大学法人 教育振興会会報

令和2年度 No.2

〈通巻第167号〉

令和2年10月1日発行

〈発行所〉

山形県公立大学法人 教育振興会  
〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1  
電話 0238 (22) 7330 (代)  
FAX 0238 (22) 7333

〈印刷所〉 有限会社 富士印刷

## キャンパス点描 7月より活気が戻りました



姫のまわり



じゃがいもの花



山形の食と歴史 じゃがいも掘り(栄養大)



昼時間のテラス



学生食堂



スポーツ実技 ダンス(短大)



スポーツ実技 球技(短大)



彩り豊かな学食

算置(さんおき)の幻術  
鎌倉時代のこと。源氏(げんしゅう)は、將軍源頼家お気に入りの算置(算木(さんぎ))を用いる易者だ。彼は天下無双の算置だと自惚(うぬぼ)れていた。彼は、田を見ただけで面積を言い当て、弘法大師のように口・手・足五本の筆で字を書けた。ある時、頼家の命で陸奥国境相論を調査して、松島へ赴いた。ここには庵に二人住む法師がいて、その庵で終夜、法談をした。翌朝、法師が「自分は天下第一の算置だ」と言う。源氏は自分の方が優れていると言いたい。そこで勝負!となり、法師は算木を源氏の周囲に置き始める。する

### せきれい

と霧(きり)霞(かすみ)が立ち籠め、源氏の周囲は大海原(うみ)丸座(えんざ)丸い畳(じやう)は岩と化した。風波は荒れ狂い、朦朧(もうろう)と化した。源氏は自分の生死さえも分からない。その時、その法師の声が響く。  
法師「源氏、己の自惚れを後悔しておるか。」  
源氏「はい、後悔しています。」  
法師「もうこれからは慢心しないか。」  
源氏「はい、もう決して致しません。」  
そう答える。霧は晴れ、陽が射してきた。算置って、数字で占いをするだけかと思つた。幻術もするんだね。鎌倉時代の『吾妻鏡』(正治二年(三〇〇)三月三日条)に記されたお話です。  
米沢女子短期大学 日本史学科教授 蘭部 寿樹



山形県立米沢栄養大学  
山形県立米沢女子短期大学

学長 阿部 宏慈

## 実り豊かな秋のために

長い夏も終わり、吹く風も爽やかな季節になりました。新型コロナウイルスの流行も、一休みとなつてくれれば良いのですが、なかなかそうもいきません。学生の皆さんも、保護者の皆様も、秋晴れにはほど遠い心境ではないかと氣遣われます。

本学では、七月から本格的に対面授業を再開し、学内には学生の皆さんの明るい声がこだましています。とはいえ、マスクの着用や手指の消毒、自宅での検温や健康観察、着席場所の制限、食堂でのパーティション設置など、感染症対策を行った上での再開で、気の抜けない状況は続いています。そんな中、今年もまた豊かな実りの季節がめぐってまいりました。秋は心にも身体にも自然の恵みをもたらしてくれます。山形の食と歴史の授業(栄養大)では、私もまた収穫のおすそ分けにあずかりました。芸術の秋、文化の秋は、皆さんの心にも豊かな滋養をもたらしてくれることでしょう。フランス食文化研究の元祖ブリアー・サヴァランは、「あなたが何を食べているかを言つてごらんさい。そうすればあなたはどんな人か当ててあげましょう」と『美味礼讃』で述べています。

ウイルスに負けない免疫力を高める栄養バランスのとれた食事を人々とともに考えるのも本学の地域貢献の一つの姿です。深まる秋を、豊かな言葉や歴史への思いで彩る手助けをするのも本学の使命の一つでしょう。コロナ禍の困難な日常の中ではありますが、みなさんとともにそんな秋を過ごせればと切に願う毎日です。

# 新任のびらあひつ



米沢栄養大学  
健康栄養学部  
健康栄養学科  
教授  
**成田 新一郎**



米沢栄養大学  
健康栄養学部  
健康栄養学科  
講師  
**井間 眞理子**

本年四月に栄養大に着任しました成田新一郎と申します。生命現象を化学的に研究する学問である生化学の授業を担当しています。栄養や食生活の改善を通して人々の健康を支える管理栄養士には、今後さらに高度な知識や技能が求められます。学生さんには、それらを修得するために必要な、科学的なものの考え方を身に付けて欲しいと思っています。

出身は京都です。7年前に岩手県の大学に異動して以来、東北の冬の寒さにも夏の涼しさにも慣れました。なので今夏の暑さには参りました。今の心配は米沢の雪道を車で走れるかどうかです。着任してすぐに休業、そして遠隔授業となり、学生さんの顔が見えない中、手探りで授業は精神的にきついものでした。一方で、我々よりも大きなストレスを受けているであろう学生さんたちの頑張っている雰囲気も感じました。それを励みに、新しい生活様式での授業の準備に追われる日々を乗り切ろうと思います。その後が本番ですから、乗り切って燃え尽きないよう頑張ります。

栄養教育論、栄養教諭に関する授業を担当します井間眞理子（いまいりこ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は隣の福島県で生まれ、父の仕事の関係で県内を中学まで6回転校しました。小学生の頃は新しい土地に行くことが新鮮でわくわくした記憶があります。さすがに中学生3年の2学期に転校した時は、憂鬱でした。母が料理上手の影響で栄養士という仕事を選びましたが、本当はCAを目指していました（この夢は友人が叶えてくれました）。好きな食べ物はお寿司です。うれしい時、悲しい時、つらい時など折に触れて食する食べ物がお寿司でした。たくさんの思い出が詰まっています。これからは米沢の食も満喫し、温泉にも行ってみたいと思います。良い思い出となるよう大学でも頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

# コロナ対策の中での授業について

米沢栄養大学  
健康栄養学部  
3年 関 優花

新しい生活様式が求められる中で、7月から対面授業が始まり、ようやく学校で専門的な勉強や実習ができるようになりました。実験では、感染対策として分散登校をし、手袋、マスク、フェイスシールドを着用しました。正直、声が届きにくく、やりづらさを感じましたが、班の中で手順や結果を丁寧に確認し合いながら実験を行うことができました。給食の大量調理の実習でも、提供する料理の衛生管理に加え、調理をする人の数を減らしたり、立ち位置を工夫したりして密を防ぐ感染対策も行い、今まで以上に安全に気を付けて調理をするようになりました。私達は週一回程度ですが、実際毎日仕事としている管理栄養士をはじめ病院や福祉、学校など調理に携わる方々に対して尊敬と感謝の想いが湧いてきました。

授業そのものには特に不便を感じないが、授業後は思考の深まりに達成感が無い印象である。文面や音声だけで一方的に話をされるリモートと、実際に会って意見を聞いたり交えたりする対面と。情報量が多く、より思考を深めることができるのは、圧倒的に対面だ。作品全体の印象に影響を及ぼす先生の、言い回しであったり、形容し難い事を説明する際の、言葉選びの間、や候補となる選択肢等は、自身の思考構築の際にも非常に参考になり、以降の取組みにも活かすことができる。つまり無意識のうちに刺激されている感性の部分こそが授業の積み重ねの中で重要な価値を持つものになっていくのだ。教師陣による型通りの教授ももちろん大事だが、予備知識や余談などのユーモアを挟む余裕があると、尚良い空間が作り出せるのではないだろうか。いつだって大切なのは、共有することなのだ。他の学生の話聞いて次のようにも考えた。演習のような意見交流の授業では、無理に専門的なアプリを使わず、LINEのような馴染みのあるアプリを使用した方が、混乱が生じにくいため効果が良い。実体験として、授業後の感想をLINEを媒介しMicrosoft Formsへ提出すれば、整理されたデータをTeamsで共有することが可能で、印刷の際も非常に便利である。大学にはこれ以降もデータ整理に特化したTeamsの活用を期待したい。

米沢女子短期大学  
国語国文学科  
2年 梅沢 優日

私が受けたのはTeamsやLINEでのオンデマンド型授業だ。板書内容や主要説明は変わらない為、

# 図書館利用案内

図書館は感染症予防対策のうえ開館しています。一般の方もご利用できます。ぜひご利用ください！

## ○開館時間

平日 九時～十九時  
（四月中旬～八月  
上旬、十月～  
翌年一月）

土曜日 九時三十分～  
十六時（通年）  
（右記以外の日）

## ○休館日

・日曜日、国民の祝日、年末年始、蔵書点検期間、入試日

・毎月初日（初日が土・日・祝祭日にあたる場合は翌日）

# リサイクル募金をはじめました！

読み終えた本・DVD等をリサイクルすることで本学へ寄付いただけます。米沢栄養大及び米沢女子短大の学生支援や教育研究活動等に役立てられます。皆様からのご支援ご協力お待ちしております。



キャリア支援センター便り



就職支援

Web面接/合同企業説明会/インターンシップ

キャリア支援センター参与(兼)副センター長  
布施 信男

今年度はそれぞれコロナ禍の中での取組みとなりました。

5月早々から、今では多くの企業で取り入れられている「Webを活用した採用面接」のために面接練習を実施しております。

例年6月に短大生を対象に、30社ほどの企業に参加戴く大規模な「学内合同企業説明会」を開催しておりますが、これまでのようなやり方での説明会は中止せざるを得ませんでした。しかし、学生にとって各企業から直接生の話を聞くことができる新たな機会です。会場が過密にならないよう参加企業数を絞った上で、7月から8月にかけて計4回に分け、当日、3密対策を講じ、これまでと遜色のないよう工夫し開催したところです。

「インターンシップ」については例年、夏休み期間の8月に実施しております。実社会において就業体験を行うことにより、自己や仕事を知らず、将来の自分の適性を見極め、職業選択に役立てることを目的としています。希望する企業や官公庁に1〜5日間程度出向き就業体験を積み重ね、新型コロナウイルス感染症のありで、参加可能な職場自体と実施時期が9月中旬〜下旬に限定され、例年より少ない9名の参加でした。参加学生には、事前説明会の開催や外部講師によるビジネスマナー講座などを通じて、安心して就職活動ができるよう支援を行い、送り出してまいります。今回得た実践的な経験を今後の職業進路選択に役立ててもらえたらと思います。



令和2年度 学内合同企業説明会開催状況(夏期)

	開催月日	参加企業数(社)	参加学生数(人)
第1回	7月6日(月)	10	42
第2回	7月27日(月)	6	20
第3回	8月3日(月)	6	20
第4回	8月24日(月)	5	19
合計		27	101

令和2年度 インターンシップ受入状況(官公庁等)

区分	受入先	人数
短大	県内	8名
	県外	1名

(注)官公庁等キャリア支援センターを通し、申し込まなければならない職場の参加人数

編入学OGの話を聞く会

米沢女子短期大学  
キャリア支援委員会委員長 原 淳一郎

7月25日(土)に「OGの話を聞く会(編入)」が開催された。当日の参加者には、2年生だけでなく、1年生も多くいるように見受けられた。非常に良いことである。目標が定まっているのであれば、早いうちから行動に移すことに越したことはない。是非そのモチベーションを来年の秋まで保つてほしい。さて、当日は山形大学、福島大学に編入学をしたOG3名が参加し、貴重な体験を話してくれた。例年に比べて、失敗談も含めて、包み隠さず話してくれた印象だった。何ら厭わず後輩のためにひと肌脱ぐという心意気に本当に感謝したい。これは米沢の良い伝統である。さてこの3名の先輩たちにおそらくは「上手く人を使う」ということだったのではないだろうか。キャリア支援センターには人生経験豊かな方々があり、編入の小論文と英語を相談できる先生もおり、しかも学科の先生も大抵相談に乗ってくれるはずである。私は勉強の本質は自学力だと考えているが、それでも時折その方向性とは是非について、誰かに意見を求めて、適宜軌道修正をはかるべきだとも考えている。是非米沢を骨まで使い尽くそう。そしてもう一点、普段の授業での提出物にきちんと向き合おう。自分の頭をフルに使って考えを捻りだし文章にまとめていく、その作業のなかで、必然と編入学試験に立ち向かう思考力は培われる。その姿勢はきっと社会に出て役立つことだらう。



令和2年度 山形県立米沢女子短期大学 『総合教養講座』のお知らせ(毎週木曜日)

テーマ「不確実な時代を自分らしく生きるために」

本学では、学外から多彩な講師を招いて、1講話完結の「総合教養講座」(全15回)を開講しております。専門性に基づいた幅広い話を聞くことにより、教養を高め、物の見方、捉え方をより豊かなものとするを目的とした講座です。

今年度のテーマは「不確実な時代を自分らしく生きるために」です。社会人として身につけておくべき知識・教養を習得するとともに、地域の様々な分野で活躍される方々のお話をうかがい、新型コロナなどで先が見通せない世の中にあっても自分らしく生きるためのヒントを一つでも多く得てみませんか。

この講座は、本学の地域貢献事業として県民の皆様にも広く公開致します。多くの皆様の御来聴をお待ちしております。

1. 講義時間 毎週木曜日 14:40~16:10までの90分
2. 会場 米沢女子短期大学 C-201教室
3. 聴講申込 聴講を希望する方は、講義日の前日までに、講義名、住所、氏名、連絡先を本学教務学生課に、お電話、FAX又はE-mailのいずれかの方法でお知らせください。
4. その他 当日は、受付で検温・手指の消毒を行います。学内ではマスクの着用をお願いします。※以下に該当する方は、受講をお断りします。

- ①当日の検温で37.5℃以上の熱がある方。
- ②風邪などの症状がみられる方。
- ③検温・手指の消毒・マスク着用にご協力いただけない方
- ④講義前2週間以内に海外渡航歴がある方

講義日程・内容

No.	期日	講師
1	10月1日(木)	選挙管理委員会出前講座「模擬選挙」
2	10月8日(木)	山形県労働委員会出前講座
3	10月15日(木)	山形県デートDV防止出前講座 県男女共同参画センター アドバイザー 金澤和子氏
4	10月22日(木)	県ライフデザインセミナー 株式会社ジョイン 常務取締役 武田靖子氏
5	10月29日(木)	米沢年金事務所「年金セミナー出張授業」
6	11月5日(木)	株式会社山形放送 アナウンサー 山川 麻衣子氏
7	11月12日(木)	人材育成アカデミーローズレーン 代表 黒田 三佳氏
8	11月26日(木)	福島学院大学福祉学部 教授 梅宮 れいか氏
13	1月7日(木)	米沢市長 中川 勝氏

※全15回を予定しており、上記のほか、12月3日(木)、12月10日(木)、12月17日(木)、12月24日(木)、1月14日(木)、1月21日(木)も開催しますが、講師は未定です。後日、本学ホームページでお知らせします。

山形県立米沢女子短期大学教務学生課

TEL:0238-22-7340 FAX:0238-22-7333  
E-mail:jimu@yone.ac.jp

※FAX及びE-mailで申し込まれる場合は、件名に「総合教養講座聴講希望」と明記ください。

## キャリア支援センター便り

### 「グローバル・マインド」と「グローバル・マインド」



キャリア支援センター主任  
青木 和人

今年度四月からキャリア支援センターでお世話になっております。宜しくお願ひ申し上げます。

七月から対面授業が始まり、当センターにも学生が次々に訪ねてくるようになり、エントリーシートや、公務員試験、編入学試験の志願理由書の添削、面接練習の対応に追われる日々が続いております。

エントリーシートや志願理由書の添削、面接練習の対応を通して、本学学生の多くが、さまざまな形で、地域(米沢市)の行事に参加していることを知り、驚いていきます。地域活動に参加したことがきっかけとなり、「団体職員や公務員として、地域(米沢市に限らず)に関わる仕事に就きたい」「将来は教員として地元(出身地)の子供たちを育成したい」「地域社会について、さまざまな専門分野の観点から深く学びたい」等々の希望を持つようになったという学生が数多くいることに、頼もしさを感じ、大変うれしく思っている次第です。全国各地で地域の衰退に危機感が示されて久しく、とりわけ地方から大都市への若者流出が止まない昨今において、地域貢献に高い志を抱く学生、すなわち、確かな「ローカル・マインド」を持ち備えた学生は、高い評価を得られることと期待しています。

もう一方で、海外において、現地の方々の交流事業や、ボランティア活動に携わった(中学・高校時代の参加も含む)という学生も少なからずいることを知り、このことも驚いています。欧米先進国ではなく、いずれも、いわゆる開発途上の国々に

おいて、それぞれに貴重な経験をしており、職業観にも大きく影響していることをうかがい知ることが出来ます。「インバウンドで訪ねてくる海外の方々と地域をつなぐ仕事に就きたい」「国際関係の勉強をして、貿易に携わりたい」「将来は、開発途上国でフェアトレードを推進する仕事に関わりたい」というように、それぞれの希望に、海外での体験が大きく反映していることがわかります。人・経済・情報等々のグローバル化が進む一方、海外志向の若者が減少し、学生が内向き志向になっている(二〇〇四年以来、日本から海外に留学する学生数が年々減少)と言われる状況の中、海外での交流事業やボランティアに携わった学生、すなわち、経験に基づく「グローバル・マインド」を持ち備えた学生は、大きな強みを持っていることになり、外向的で有為な人材という評価を得られるに違いありません。

さて、いまだ先行き不透明なコロナ禍にありますが、地方が見直されるようになってきたことをメディアが伝えていきます。リモート勤務が可能となり、自然と空間を存分に享受でき、感染の心配も軽減される地方に注目が集まっているとの報道です。また、人々のグローバルな動きが制限され、貿易をはじめ国際経済活動も停滞していることが伝えられています。サブライ・チェーンの見直しが図られ、これまで海外工場を生産していたものを、日本国内で生産するようになった例も報道されています。とは言え、グローバル化が後退することはあり得ないと思われまます。このよう不確実な時代において、「ローカル・マインド」「グローバル・マインド」という強みを持ち備えていることに自信を持つてほしいと、学生に強調したいと思っております。

「ローカル・マインド」「グローバル・マインド」、それぞれを活かし、活躍したいという学生の気持ちを大切にしたいと思えます。学生一人ひとりに適切なアドバイスをするように、進路希望の実現につながるよう、センター職員が一丸となって支援をしていく所存です。

## 南米派遣に参加して

毎日違う学び、毎日新しい出会い、とても刺激的な3週間！

米沢栄養大学 健康栄養学部健康栄養学科 3年 加藤 夏奈

2月21日から3月11日にかけて、山形大学主催の南米短期派遣プログラムに参加しペルー・ポリビア・チリの3か国に行ってきました。日本でも世界でもコロナウイルスの感染が広がった時期でしたが、幸いにも南米では感染者が少なかつた為、中止にならずに最後まで終える事ができました。ペルーではナスカの地上絵見学、味の素ペルー工場訪問、日系人ペルー学校や4大学での現地学生との交流等、ポリビアではウユニ塩湖、大学での交流会、チリでは環境問題の聴講、国立天文台訪問など、書き足りない程の貴重な経験をさせていただきました。体力的にも精神的にもハードでしたが全く異なる環境での学びを心の底から楽しめました。特にポリビアのウユニ塩湖では先生、学生と日が暮れるまで景色を楽しみ、夕日が落ちる瞬間の美しさを忘れる事ができません。先生の涙ながらの話に、私も涙が溢れ、自然に癒されパワーをもらいました。いかに人間が小さく、自然のパワーがいかに大きいかを実感した日となり、だからこそ、私も自然を癒せるよう地球に優しく生きていきたいと自然環境の大切さに改めて気づきました。映える写真撮影よりもこの目に心に焼けたらと思う、そんな強烈な体験でした。

米沢栄養大学から1人だけの参加で、様々な不安があり、出発直前まで躊躇していました。その時学友のメッセージが力になり、支えられ、勇気を出す事ができました。感謝しています。出会った日本の学生も現地の学生も、学部も様々で互いに母国語も異なり、最初はどんな風に話しかけようか、私の英語で伝わるか等コミニケーションを恐れていました。勇気を出し自分から二歩踏み出すことで、自分と違う事を知るの新しい学びのチャンス、今迄の価値観をアップデートするチャンスと思えるようになりました。このプログラムでの素敵な出会いのお陰です。新しい事に挑戦する時に嫌な事を想像して不安になったり恐くなったり、やらなくてもいい理由を探しがちですが、やらなかった事を後悔する自分を想像する方がもっと嫌だと思います。新しい挑戦に勇気が出ないと躊躇している人、この事を伝えたいです。



今後は、英語やスペイン語の他にも様々な言語を勉強し、日本語圏以外の人達と関わってみたいですね。また今回学習した環境問題についても知識を深め、食と農業・環境の関わりやこれからの環境のために、自分は何ができるかを考え行動していきたいです。

## 事務局からのお知らせ

後期分授業料につきましては、すでにお渡ししてある納入通知書をお使いの上、10月30日(金)までに納入くださいますようお願いいたします。

栄養大	健康栄養学部	授業料
1年	健康栄養学科	267,900円
2年	健康栄養学科	267,900円
3年	健康栄養学科	267,900円
4年	健康栄養学科	267,900円

短大	学 科	授業料
1年	国語国文学科	195,000円
	英語英文学科	195,000円
	日本史学科	195,000円
	社会情報学科	195,000円
2年	国語国文学科	195,000円
	英語英文学科	195,000円
	日本史学科	195,000円
	社会情報学科	195,000円

## 編集後記

米沢でも九月の最高気温の記録更新となった厳しい残暑に加えて、マスク着用の暑さ、十月となり秋の気配にほっと息をつきました。コロナ禍中でも水泳の池江璃花子選手が闘病からの復帰戦、藤井聡太棋士が最年少二冠達成という学生と同じ若い世代の力強いニュースで明るい気持ちになりました。本学でも自分の進路に真剣に向き合い励んでいる学生の様子をお伝え出来たらと思います。季節の変わり目どうぞご自愛ください。(書記 鈴木 郁子)